

科目名	卒業論文					
科目名(英)						
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	森永 久美子	
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	航空会社にて客室乗務員として勤務	
対象学科・学年	エアライン科2年					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・課題として出されている卒業論文の完成と期限内の提出 ・航空業界/鉄道業界分野の知識とスキルの上昇 ・2年間の学習成果をまとめ、今後の業界に役立てる 					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○		○		企業研究をし、学生自身が白田ことを説明することができる
	○	○		○		論文に必要な知識を集約することができる
	○	○		○		読み手にその論文がどういう問題意識から何について書かれたもの説明することができる
	○	○		○		論述してきたことをわかりやすく記入し、説明することができる
テキスト・教材 参考図書	各自卒業論文に準ずるテキスト・プリント					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	卒業論文の書き方			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること	
	2	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること	
	3	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること	
	4	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること	
	5	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること	
	6	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること	
	7	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること	
	8	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること	
	9	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること	
	10	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること	
	11	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること	
	12	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること	
	13	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること	
	14	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること	
	15	卒業論文の研究・分析・調査を実施			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること	
	16	卒業論文の研究・分析・調査を実施/自己研鑽及自学学習			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること	
	17	卒業論文の研究・分析・調査を実施/自己研鑽及自学学習			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること	
	18	卒業論文の研究・分析・調査を実施/自己研鑽及自学学習			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること	
	19	卒業論文の研究・分析・調査を実施/自己研鑽及自学学習			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること	
	20	卒業論文の研究・分析・調査を実施/自己研鑽及自学学習			企業研究し、論文に必要な知識を準備すること	
	21	まとめ・発表			発表準備をする	
	22	まとめ・発表			発表準備をする	
23	まとめ・発表			発表準備をする		

評価方法	(1)授業態度 (2)意欲・努力 (3)提出物状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度				◎		25%
	意欲・努力				◎		25%
	提出物状況				◎		50%
履修上の注意	欠席が6回以上となる場合は、単位未取得となる						

科目名	地理Ⅱ						
科目名(英)	World Geography						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	島 一弘		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	麻生にて人文科目を指導		
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	国際人をめざし、国際人として世界の地理を理解しその自然とその風土・文化を愛し、他国の人にも説明することができるようことを目指す。また各国の価値観を理解し、互いにその違いと共通点を見出すことができることを目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					地理を理解する基本用語の理解ができる。	
		○				基本的な世界の地理・風土・文化が説明できる。	
				○		常にあらゆるものに対して「なぜ」という疑問を持ち、問題に取り組む姿勢を持つ。	
テキスト・教材 参考図書	地図脳ワーク・プリント・地図帳						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	世界のすがた(1)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	世界のすがた(2)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	世界各地の人々の生活と環境(1)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	世界各地の人々の生活と環境(2)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	アジア州とアフリカ州			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	ヨーロッパ州			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	北アメリカ州と南アメリカ州			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	オセアニア州			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)宿題・レポートを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート	○	◎		◎		100%
履修上の注意	学習意欲(居眠り・私語)は減点の対象とする						

科目名	実用英語Ⅱ－②						
科目名(英)	Practical EnglishⅡ－②						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	津田 徳子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	外資系企業の秘書として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング・リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	目標						
	○					TOEIC問題を解く際に必要な文法を理解することができる。	
	○					TOEIC頻出単語・熟語を覚え、使用する事ができる。	
		○				様々な国の発音に慣れ、話の内容を理解することができる。	
		○			ビジネス文書や記事を読み、内容を理解することができる。		
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC Listening&Reading 問題集5 (国際ビジネスコミュニケーション協会) ・TOEIC L&R出る単特急銀のフレーズ(朝日新聞出版) 						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	シラバス確認、TOEICテストの概要と学習方法、聴解の勉強方			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	2	Listening(Section1&2)、Reading Part 5(語彙①)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	3	Listening(Section3&4)、Reading Part 5(語彙②)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	4	Listening (Section 5&6)、Reading Part5(文法 品詞①)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	5	Listening(Section7&8)、Reading Part5(文法 品詞②)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	6	Listening(Section9&10)、Reading Part6(長文空所問題①)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	7	Listening(Section11&12)、Reading Part6(長文空所問題②)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	8	Listening (Section 13&14)、Reading Part7(長文読解①)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	9	Listening (Section 15&16)、Reading Part7(長文読解②)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	10	Listening (Section 17&18)、Reading Part7(長文読解③)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	11	Listening (Section 19&20)、Reading Part7(長文読解④)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	12	演習問題 Test 1 (Listening)、解答解説			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	13	演習問題 Test 1 (Reading)、解答解説①			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	14	演習問題 Test 1 (Reading)、解答解説②			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	15	公式問題分野別学習 Reading:Part 5 Listening:Part1			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	16	Reading:Part 5 Listening: Part 2			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	17	Reading:Part 5 Listening: Part 2			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	18	Reading:Part 6 Listening: Part 3			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	19	Reading:Part 6 Listening: Part 3			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	20	Reading:Part 6 Listening: Part 3			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	21	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	22	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	23	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	24	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	25	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	26	総合問題 Test 2 (Listening)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	27	総合問題 Test 2 (Listening) 解答解説			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	28	総合問題 Test2 (Reading)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	29	総合問題 Test2 (Reading) 解答解説			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	30	総合問題 Test2 (Reading) 解答解説			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施 (2)単語テストを毎週実施 (3)朝自習プリント、宿題等の提出 (4)検定結果以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 TOEICの受験結果を評価する。450点以上を100点、425点～445点を90点、400～420点を80点、360～395点を70点、270点以上を60点以上を下記の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト(単語テスト)	○	○				25%
	朝自習プリント・宿題	○	○		○		15%
TOEIC検定	○	○				10%	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書を持参(スマホ使用禁止) ・提出物は期限厳守 ・授業外での自主学習 						

科目名	実用英語Ⅱ－②						
科目名(英)	Prctical English I II－②						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	深川信子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	予備校・塾にて英語講師として勤務		
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング・リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。						
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					TOEIC問題を解く際に必要な文法を理解する事ができる。	
	○					TOEIC頻出単語・熟語を覚え、使用する事ができる。	
		○				様々な国の発音に慣れ、話の内容を理解する事ができる。	
		○				ビジネス文書や記事を読み、内容を理解する事ができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC Listening&Reading 問題集5 (国際ビジネスコミュニケーション協会) ・TOEIC L&R出る単特急銀のフレーズ(朝日新聞出版) 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	シラバス確認 Listening:Part3 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	2	Listening:Part3 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	3	Listening:Part3 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	4	Listening:Part3 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	5	Listening:Part3 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	6	Listening:Part4 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	7	Listening:Part4 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	8	Listening:Part4 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	9	Listening:Part4 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	10	Listening:Part4 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	11	Listening:Part4 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	12	Listening:Part4 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	13	Listening:Part1 Reading:Part5				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	14	Listening:Part2 Reading:Part5				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	15	Listening:Part2 Reading:Part5				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	16	Listening:Part2 Reading:Part6				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	17	Listening:Part3 Reading:Part6				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	18	Listening:Part3 Reading:Part6				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	19	Listening:Part3 Reading:Part6				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	20	Listening:Part3 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	21	Listening:Part3 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	22	Listening:Part3 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	23	Listening:Part4 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	24	Listening:Part4 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	25	Listening:Part4 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	26	Listening:Part4 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	27	Listening:Part4 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	28	Listening:Part4 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	29	Listening:Part4 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	30	Listening:Part4 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
評価方法	(1)定期試験を実施 (2)単語テストを毎週実施 (3)朝自習プリント、宿題等の提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎					25%
宿題・レポート	◎	○		○		25%	
履修上の注意	・辞書を持参(スマホ使用禁止) ・提出物は期限厳守 ・授業外での自主学習						

科目名	実用英語Ⅱ－②					
科目名(英)	Practical English for STEP 2nd Grade Ⅱ－②					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	蟻川 信三	
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	福岡県立高等学校にて英語教師として27年間勤務	
対象学科・学年	エアライン科 2年生					
授業概要	就職活動の資格試験として、実用英語検定試験2級合格を目指します。英語検定2級の問題を中心に、リーディング・リスニングを中心に演習を行います。また、英文読解力・語彙の強化に努め、英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)の表現力を高めることを目的とします。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					語彙:英語検定2級レベルの語彙(約4000~5000語)の意味が理解できるようになる
	○					読む:まとまりのある説明文を理解し、実用的な文から必要な内容を読み取ることができるようになる。
	○	○				書く:日常生活での話題についてある程度まとまりのある文章を書くことができるようになる
	○					聞く:様々な内容の英語を理解し、正しく聴き取れるようになる
	○					話す:日常生活での出来事について説明したり、用件を伝えたりすることができるようになる
テキスト・教材 参考図書	・旺文社 英検2級DAILY20日集中ゼミ ・旺文社 での順パス英検2級 1700語					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	序説:名詞・形容詞・副詞の役割と文の要素(S/V/O/C/M)			左記の内容をそれぞれ言えるように覚えること	
	2	序説:英語の5文型と文の構造			各文型の基本構造を言えるように覚えること「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう	
	3	1日目:短文の語句空所補充問題①(単語)解説&問題			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	4	2日目:短文の語句空所補充問題②(熟語)解説&問題			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	5	3日目:短文の語句空所補充問題③(文法)解説&問題			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	6	4日目:短文の語句空所補充問題④(語法)解説&問題			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	7	5日目:長文の語句空所補充問題①解説&問題「A」「B」			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	8	6日目:長文の内容一致選択問題①解説			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	9	6日目:長文の内容一致選択問題①問題「A」「B」			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	10	7日目:長文の内容一致選択問題②解説			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	11	7日目:長文の内容一致選択問題②問題「A」「B」			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	12	8日目:英作文の問題① 解説			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	13	8日目:英作文の問題① 問題			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	14	9日目:会話の内容一致選択問題① 解説&問題			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	15	10日目:文の内容一致選択問題① 解説&問題			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	16	演習:リスニング特訓①			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	17	11日目:【応用】短文の語句空所補充問題単語⑤			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	18	12日目:【応用】短文の語句空所補充問題熟語⑥			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	19	13日目:【応用】短文の語句空所補充問題文法⑦			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	20	14日目:【応用】短文の語句空所補充問題語法⑧			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	21	演習:リスニング特訓②			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	22	15日目:【応用】長文の語句空所補充問題②-A			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	23	15日目:【応用】長文の語句空所補充問題②-B			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	24	演習:リスニング特訓③			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	25	16日目:【応用】長文の語句空所補充問題③-A			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	26	16日目:【応用】長文の語句空所補充問題③-B			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	27	17日目:【応用】英作文の問題② 解説			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	28	17日目:【応用】英作文の問題② 問題			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	29	演習:リスニング特訓④			「英検2級集中ゼミ」を予習してこよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	30	後期定期考査(筆記)				

評価方法	① 定期考査を実施する(筆記) ② 月曜日から金曜日まで、毎朝授業前に単語の小テストを行う ③ 宿題を数回課す。④ 授業態度(授業中の取り組みや発表)を評価する 以上を下記の観点・割合で評価する 成績評価基準は S:90点以上 A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上 D:59点以下 とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎	○		○		25%
	宿題・レポート	◎	○		○		5%
	授業態度	◎	○		○		20%
履修上の注意	①授業前の予習は必ず行うこと。復習より予習の方が大切である。 ②辞書(電子辞書可)を必ず持参すること。 ③筆記用具は必ず持参すること ④授業中のスマホ等の使用は絶対に禁止!(スマホ等での辞書アプリ禁止)						

科目名	実用英語Ⅱ－②					
科目名(英)						
単位数	4	時間数	60	担当者	内丸 誌帆	
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	専門学校にて講師として勤務	
対象学科・学年	エアライン科 2年					
授業概要	英検準2級合格を目標とする。 基本的な文法・単語を理解し、ホテル・空港、またそれに準ずる業務に必要な最低限度の英語力を身につける。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					準2級程度の文法を理解し、過去問題を解くことができる。
	○	○				頻出のイディオムを含んだ文章(10文程度)を暗唱・ライティングできる
				○		宿題・授業内での課題を期限内に提出できる
テキスト・教材 参考図書	旺文社 2020年度版 英検準2級 過去6回 全問題集／でる準パス単 英検準2級					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	実用英語1	短文の語句空所問題		単語テストに向けた学習	
	2	実用英語2	短文の語句空所問題		単語テストに向けた学習	
	3	実用英語3	短文の語句空所問題		単語テストに向けた学習	
	4	実用英語4	会話文の文空所補充		単語テストに向けた学習	
	5	実用英語5	会話文の文空所補充		単語テストに向けた学習	
	6	実用英語6	会話文の文空所補充		単語テストに向けた学習	
	7	実用英語7	長文の語句空所補充		単語テストに向けた学習	
	8	実用英語8	長文の語句空所補充		単語テストに向けた学習	
	9	実用英語9	長文の内容一致選択		単語テストに向けた学習	
	10	実用英語10	長文の内容一致選択		単語テストに向けた学習	
	11	実用英語11	長文の内容一致選択		単語テストに向けた学習	
	12	実用英語12	英作文問題① / リスニング		単語テストに向けた学習	
	13	実用英語13	英作文問題① / リスニング		単語テストに向けた学習	
	14	実用英語14	英作文問題② / リスニング		単語テストに向けた学習	
	15	実用英語15	英作文問題② / リスニング		単語テストに向けた学習	
	16	実用英語16	短文の語句空所問題		単語テストに向けた学習	
	17	実用英語17	短文の語句空所問題		単語テストに向けた学習	
	18	実用英語18	短文の語句空所問題		単語テストに向けた学習	
	19	実用英語19	会話文の文空所補充		単語テストに向けた学習	
	20	実用英語20	会話文の文空所補充		単語テストに向けた学習	
	21	実用英語21	会話文の文空所補充		単語テストに向けた学習	
	22	実用英語22	長文の語句空所補充		単語テストに向けた学習	
	23	実用英語23	長文の語句空所補充		単語テストに向けた学習	
	24	実用英語24	長文の内容一致選択		単語テストに向けた学習	
	25	実用英語25	長文の内容一致選択		単語テストに向けた学習	
	26	実用英語26	長文の内容一致選択		単語テストに向けた学習	
27	実用英語27	英作文問題① / リスニング		単語テストに向けた学習		

	28	実用英語28 英作文問題① / リスニング	単語テストに向けた学習				
	29	実用英語29 英作文問題② / リスニング	単語テストに向けた学習				
	30	実用英語30 学期末試験					
評価方法	(1)定期試験(2)小テスト(3)宿題・提出物を実施する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト	○	○				30%
	宿題・提出物		○				20%
履修上の注意	課外だけでなく講義内でも単語テストを実施し、期末の成績に反映されるので自宅学習を徹底すること						

科目名	実用英語Ⅱ-②					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	波多野 里美	
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	航空会社にて国際線客室乗務員として勤務	
対象学科・学年	エアライン科 2年					
授業概要	英検過去問題の文法、読解、リスニング、ライティングと徹底的に学習することにより、英検準2級合格を目指します。毎朝、朝課題として英単語と英熟語を学習してください。毎回リスニングを実施します。テキスト英検準2級過去問題集を徹底的に取り組みますので各自、予習・復習を実施すること。何度も学習することにより、日常生活に必要な英語を理解し、活用することが出来るレベルを目指します。					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					英検準2級の合格するための応用ができる。
	○					英検準2級の英単語・熟語を書き覚えることができる
	○					英検準2級のリスニング問題に対応できるようになる。
	○					英検準2級の文法・読解を学習し、筆記問題に対応できる。
	○					英検準2級程度の英作文のスキルを身に付けることができる。
テキスト・教材 参考図書	・英検準2級過去6回全問題集(旺文社)・でる順パス単英検準2級(旺文社) ・英検準2級をひとつひとつわかりやすく(学研)					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	リスニング・短文の語句空所補充・文法			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	7	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	10	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	11	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	12	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	13	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	14	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	15	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	16	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	17	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	18	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・読解			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	19	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	20	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	21	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	22	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	23	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	24	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	25	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
26	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		

	27	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	28	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	29	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	30	学年末試験	後期の授業内容全般を復習しておくこと				
評価方法	(1)学年末試験(筆記)を実施する(2)授業の中で小テストを4回実施する(3)宿題提出状況以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	学年末試験	○					80%
	小テスト	○					10%
	宿題	○			○		10%
履修上の注意	授業に電子辞書または英語辞典を必ず持参してください。 出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語Ⅱ-②					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	夏山恵	
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	航空会社にて国際線客室乗務員として勤務	
対象学科・学年	エアライン科 2年					
授業概要	基本的な単語、文法を習得し、中学校卒業レベルの英語力を習得する。 出題形式に沿った演習と精聴リスニングの訓練を行い、英検3級取得を目標とする。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					1200語程度の単語、熟語を覚え、応用することができる。
	○	○				テキストの課題文について9割以上英語で解答することができる。
	○	○				テキストのリスニング内容をほぼノーマルスピードで聞き取り、音読することができる。
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・啓隆社 Baton Pass G1 ・旺文社 英検3級でる順パス単／英検3級出る順パス単書き覚えノート ・過去問題演習プリント ・ジャパンタイムズ はじめての英語音読 					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	授業のガイダンス-授業の基本方針とスケジュールの説明、自らの動機とゴール設定の明確化				
	2	・現在時制、過去時制 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	3	・進行形、未来時制 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	4	・まとめ小テスト① ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	5	・疑問文、命令文、名詞、冠詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	6	・代名詞、助動詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	7	・まとめ小テスト② ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	8	・動名詞、不定詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	9	・形容詞、副詞、比較 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	10	・まとめ小テスト③ ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	11	・受動態、現在完了形 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	12	・分詞、関係代名詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	13	・まとめ小テスト④ ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	14	・文構造、否定疑問文、付加疑問文、間接疑問文 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	15	・前置詞、接続詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	16	・まとめテスト⑤ ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	17	過去問題演習と補足(リスニングを含む)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
18	過去問題演習と補足(リスニングを含む)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと		

	19	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	20	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	21	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	22	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	23	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	24	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	25	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	26	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	27	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	28	実力完成模擬テスト①(筆記)	授業で学んだことを総復習してからテストに臨むこと				
	29	実力完成模擬テスト②(リスニング)	授業で学んだことを総復習してからテストに臨むこと				
30	定期試験	授業で学んだことを総復習してからテストに臨むこと					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを5回実施する。 (3)授業への参加状況(音読の取り組み姿勢や積極的な発言) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	小テスト	○	○				10%
	授業への参加態度	○			○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英会話Ⅱ-②						
科目名(英)	English CommunicationⅡ-②						
単位数	2	時間数	30	担当者	Robert Sumner		
実施年度	2020	実施時期	後期	担当者実務経験	English Teacher		
対象学科・学年	Airline 2nd Grade						
授業概要	Provide students with motivation to learn English Give students confidence to believe they can improve Provide English skills for Everyday English to the work environment						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					To learn everyday vocabulary & remember key words	
		○				Study to give students confidence to express themselves	
				○		Encourage students to speak with confidence & positive attitude	
テキスト・教材 参考図書	Person to Person Third 1 Student Book with Audio CD,Talk a Lot BOOK1,Print						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Summer holiday class servy					
	2	Could I borrow that ?					
	3	Colud you change my ticket?					
	4	Likes & Dislikes					
	5	Immigration Passengers					
	6	Boarding pass Departing card					
	7	Asking questions for Tourrists					
	8	Around the Airport					
	9	Airline Vocabulary					
	10	Which city did you like better?					
	11	What are you going to do?					
	12	Discussing Goals					
	13	Review key vocabulary					
	14	Test Preperation					
15	End of term Test						
評価方法	(1)授業内での定期試験を実施する。(2)授業への取り組み方参加状況(態度・意欲等の音読の取り組み姿勢や積極的な発言) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	態度・意欲				◎		50%
履修上の注意							

科目名	エアラインゼミ III						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	波多野 里美		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	航空会社にて国際線客室乗務員として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	航空会社で働いていくためには、秩序に従い規範を守って行動することがとても大切です。この授業では、航空会社の一員として自信をもって働いていけるように、基本的な専門知識を学習していきます。航空会社関連等の新社会人として必要な専門用語と基礎知識、会社から求められている接客サービスのレベルについての理解を深め、即戦力として活躍できる新社会人を目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					航空会社の新入社員として知っておくべき専門用語と基礎知識を学習します。	
	○					社会人として必要とされる基本的な資質・身だしなみ・自己管理について学習する。	
	○			○		旅客ハンドリングのカウンター基本対応を実施出来る様に演習します。	
	○	○		○		航空業界の専門知識の理解を深める為、カウンター業務演習をしていきます。	
テキスト・教材 参考図書	ANAグランドスタッフ入門						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	新入社員としてのマナー-身だしなみ・姿勢・自己管理				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	航空会社の専門用語について				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	航空会社の専門用語について				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	4	国内線旅客ハンドリングについての専門用語と確認事項				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	国内線旅客ハンドリングについての基礎知識とカウンター業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	国内線旅客ハンドリングについての基礎知識とカウンター業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	7	国内線旅客ハンドリングについての基礎知識とカウンター業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8	東京研修発表会				発表会中の各発表者へコメントをしっかりと記入してください。	
	9	東京研修発表会				発表会中の各発表者へコメントをしっかりと記入してください。	
	10	空港研修発表会				発表会中の各発表者へコメントをしっかりと記入してください。	
	11	空港研修発表会				発表会中の各発表者へコメントをしっかりと記入してください。	
	12	国際線旅客ハンドリングについての専門用語と確認事項				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	13	国際線旅客ハンドリングについての基礎知識とカウンター業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	14	国際線旅客ハンドリングについての基礎知識とカウンター業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	15	新入社員としての資質について-総まとめ				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
評価方法	(1)小テスト実施する。(2)宿題提出状況を考慮する。(3)カウンター業務演習の対応力以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○					10%
	宿題	○					10%
	カウンター業務の演習						80%
履修上の注意	出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、科目単位を与えない。						

科目名	英語表現Ⅱ						
科目名(英)	English expressionⅡ						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	深川信子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	予備校・塾にて英語講師として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	1年次に学習した、英語での自己紹介や空港での会話表現の復習を行います。また、TOEIC教材を使用し、更なる英語表現力のアップ、TOEICスコアアップを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				自己紹介を英語でできる	
	○	○				特定の場面で使われる慣用表現を覚え、使うことができる	
	○	○				TOEICスコアアップができる	
テキスト・教材 参考図書	配布プリント等						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	シラバス確認、英語での自己紹介の復習				授業で学習した内容を暗記できるまで繰り返し練習しましょう	
	2	英語での自己紹介の復習				授業で学習した内容を暗記できるまで繰り返し練習しましょう	
	3	空港での会話、定型表現等の復習				授業で学習した内容を暗記できるまで繰り返し練習しましょう	
	4	空港での会話、定型表現等の復習				授業で学習した内容を暗記できるまで繰り返し練習しましょう	
	5	Listening Part1 Reading Part5				指定された箇所を事前に解いておくこと	
	6	Listening Part2 Reading Part5				指定された箇所を事前に解いておくこと	
	7	Listening Part2 Reading Part5				指定された箇所を事前に解いておくこと	
	8	Listening Part3 Reading Part6				指定された箇所を事前に解いておくこと	
	9	Listening Part3 Reading Part6				指定された箇所を事前に解いておくこと	
	10	Listening Part3 Reading Part6				指定された箇所を事前に解いておくこと	
	11	Listening Part4 Reading Part7				指定された箇所を事前に解いておくこと	
	12	Listening Part4 Reading Part7				指定された箇所を事前に解いておくこと	
	13	Listening Part4 Reading Part7				指定された箇所を事前に解いておくこと	
	14	Listening Part4 Reading Part7				指定された箇所を事前に解いておくこと	
15	Listening Part4 Reading Part7				指定された箇所を事前に解いておくこと		
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する (2)授業の中で発表を行う 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート	◎	○		◎		50%
	発表	◎	○		◎		50%
履修上の注意	・スマホ使用禁止 ・授業で学習した内容を、暗記できるまで繰り返し練習する事						

科目名	韓国語Ⅱ-②(必須選択)					
科目名(英)	Korean language					
単位数	3	時間数	45	担当者	李 銀晶	
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	福岡韓国教育委員講師	
対象学科・学年	エアライン科2年					
授業概要	この授業では、隣の国である 韓国の社会文化と日本社会と比べながらしっかり理解して、韓国語文字、基本会話、文法に学びます。さらに、グローバルな視野を持ち、国際的に活躍できる人物を育成します。基本的な韓国語スキルと発音・会話練習があり、韓国語会話について自信感を高めます。さらに、韓国社会・文化の理解を得て、日韓関係について関心を深めることを目的とします。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					韓国語の文字、基本会話を覚えて、基本的な韓国語コミュニケーションスキルを上げることができる。
		○				韓国語の文法について理解を得て、日本語の文法と比較できる。
		○				韓国語能力試験(TOPIK)2級レベルが応用できる。
				○		韓国社会と文化を理解して、日韓両国関係の改善に寄与できる。
テキスト・教材 参考図書	できる韓国語初級Ⅰ(できる出版)					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	第15課 希望の表現～したいです、～したがついています。			教科書の本文を五回読んでくる	
	2	第15課 希望の表現～したいです、～したがついています。基本文系練習・応用練習			したいことについて韓国語で文を考える	
	3	第11～第15課 復習・練習問題				
	4	第16課 理由・原因～ので			単語の予習・復習	
	5	ㄹ不規則活用			自分の一日について文を韓国語で考える	
	6	第17課 許可求め～してもいいですか			習った単語を復習し、本文を5回読んでくる	
	7	～すればいいですかの表現、過程・条件～ば、～たら			日本と韓国はどのように違うのか考えてくる	
	8	第18課 勧誘～まじょうか			習った単語を復習してくる	
	9	勧誘～まじょう、目的の表現～しに			イベントや食事に誘ってみる場面の言葉をかんがえてみる	
	10	第19課 依頼の表現～していただけますか、～してください			習った本文を5回読み、単語を復習する	
	11	逆説を表すときに使われる表現～ですが、～ますが			応用練習を復習してくる	
	12	第20課 能力・可能～することができます、不可能～することができません			習った単語、教科書本文を5回読んでくる	
	13	現在進行～ています			応用練習を復習してくる	
	14	韓国語能力試験対策講座 単語練習(1)名詞			単語、文章を復習	
	15	韓国語能力試験対策講座 読解練習(1)			単語、文章を復習	
	16	韓国語能力試験対策講座 聴解練習(1)			単語、文章を復習	
	17	韓国語能力試験対策講座 聴解練習(2)			単語、文章を復習	
	18	韓国語能力試験対策講座 単語練習(2)動詞			単語、文章を復習	
	19	韓国語能力試験対策講座 読解練習(2)			単語、文章を復習	
	20	韓国語能力試験対策講座 聴解練習(3)			単語、文章を復習	
	21	韓国語能力試験対策講座 聴解練習(4)			単語、文章を復習	
	22	韓国語能力試験対策講座 単語練習(3)形容詞			単語、文章を復習	
	23	期末試験				

評価方法	(1)期末試験 (2)小テストは授業中1回行います (3)出欠状況 (4)授業への参加状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	態度・意欲	その他	評価割合
	期末試験	◎	○			70%
	小テスト、課題	◎	◎			10%
	出席状況			◎		10%
	授業態度	◎		◎		10%
履修上の注意						

科目名	中国語Ⅱ-②(必須選択)					
科目名(英)						
単位数	3	時間数	45	担当者	青柳七重	
実施年度	2020年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	フリーランスで講師・ 実務翻訳20年	
対象学科・学年	観光系エアライン科2年					
授業概要	アスペクト助詞や助動詞を復習し、また補語などより高度な表現方法を学んで 仕事の現場で使える中国語の習得を目指す。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○					アスペクト助詞を復習し、適切な動作の状況を表現できる。
	○					補語や強調構文を学び、よりの確な表現ができる。
	○					中国語検定試験4級・3級の合格を目指すレベルの応用ができる。
テキスト・教材 参考図書	どんどん吸収中国語(光生館)/中国語検定4級・3級問題集					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	L.10 介詞・数量補語・時間詞の復習			第10課までの復習	
	2	L.11 アスペクト助詞の復習			第11課の復習	
	3	L.12 願望の助動詞復習・経験を表す表現			新出語句御確認	
	4	L.12 習得を表す助動詞「会」				
	5	L.12 練習問題・小テスト			第12課文法事項の確認	
	6	発表「習得したこと」			発表の準備	
	7	L.13 可能の助動詞「能」			新出語句の確認	
	8	L.13 選択疑問文				
	9	L.13 空港・機内で使われる表現			空港・機内用語の確認	
	10	L.13 練習問題・小テスト			文法事項の確認	
	11	ロールプレイ「乗客/スタッフ」				
	12	L.14 試験的に行う動作の表現			新出語句の確認	
	13	L.14 結果補語1「好」			動詞文の復習	
	14	L.14 動作・行為の開始を表す表現				
	15	L.14 銀行でよく使われる表現				
	16	L.14 練習問題・小テスト			第14課の文法事項の確認	
	17	L.15 結果補語2「完」			新出語句の確認	
	18	L.15 許可を表す助動詞「可以」				
	19	L.15 起点を表す介詞・ホテルでよく使われる表現				
	20	L.15 練習問題・小テスト			第15課の文法事項の確認	
	21	ロールプレイ「宿泊客/スタッフ」				
	22	L.12～15 まとめ				
23	期末試験					

評価方法	(1)定期試験を実施する。(筆記)(2)各課終了後に小テストを実施する。(3)発表以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト	◎	○				20%
	発表		◎		◎		30%
履修上の注意	無料の音声ファイルをダウンロードし、音・意味・漢字が結びつくように常に耳を慣らしておくこと						

科目名	接客手話②						
科目名(英)	Signlanguage						
単位数	2	時間数	30	担当者	銘田 千絵		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	CAとして機内でろう者の通訳10年		
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	聴覚障害(ろう者)の歴史・文化の知識習得と、手話は「言語」である事を理解し、ろう者とのコミュニケーション・情報獲得等を支援出来る様、独自の文法を持ち、表情や身振りを用いて豊かに表現する視覚的な言語である手話を学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		聴覚障害(ろう者)について学び、聴覚障害者へ必要な対応方法を配慮する事が出来る。	
	○	○		○		日常よく使う手話表現を習得し、簡単なコミュニケーションをとる事が出来る。	
	○	○		○		空港及び機内で使う手話表現を習得し、簡単なコミュニケーションをとる事が出来る。	
テキスト・教材 参考図書	接客手話①及び② (講師作成)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	前期の復習(ろう者について・覚えている手話を表してみよう)				前期の復習 ・聴覚障害者とは? ・使える手話を表現して下さい ・事前アンケート(空港・機内で使ってみよう手話表	
	2	前期の復習及びエアラインの話し					
	3	指文字・数字を表してみよう				テキストの該当する範囲を事前に読んでおいて下さい。ウォーミングアップを兼ねて、毎回指文字で50音と数字を表現して頂きます。しっかりと覚えましょう。講師の表現方法を見て覚えて下さい。前回までの手話表現を復習し、積極的に使用して、間違っていないか確認して貰いましょう。	
	4	挨拶をしてみよう					
	5	家族の表現を覚えよう					
	6	自己紹介をしてみよう					
	7	疑問形の表し方 ★小テスト(指文字・数字の読み取り)				★指文字で表す単語と数字の読み取りの小テストをします。	
	8	時間・日にち・曜日・季節を表してみよう				テキストの該当する範囲を事前に読んでおいて下さい。ウォーミングアップを兼ねて、毎回指文字で50音と数字を表現して頂きます。しっかりと覚えましょう。講師の表現方法を見て覚えて下さい。前回までの手話表現を復習し、積極的に使用して、間違っていないか確認して貰いましょう。	
	9	飲み物・食べ物を表してみよう					
	10	空港名の表現を覚えよう					
	11	お天気・空港で使える手話を表現してみよう					
	12	使える単語を増やして文章を作りましょう ★小テスト(空港名)				★空港名+3レターを言って、その空港名を表現して下さい。例:福岡空港=FUK→福岡空港の手話	
	13	チェックインカウンター・機内での対応をやってみよう				事前アンケートのフレーズを表現してみよう。	
	14	チェックインカウンター・機内での対応をやってみよう				事前アンケートのフレーズを表現してみよう。	
15	これまで学んだ手話を使って話してみよう				覚えた手話を使って楽しく会話してみよう。総まとめ		
評価方法	(1)小テストを2回します。 (2)各授業項目の手話表現の正確さ・特に手話に取り組む授業態度を重視して評価します。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験						
	小テスト	○	○		◎		10%
	宿題・レポート	○	○		◎		10%
	発表・作品	○	○		◎		30%
	授業態度		○		◎		50%
履修上の注意	手話表現をする際、喜怒哀楽など顔の表情も大切です。感情豊かに表現しましょう。						

科目名	ソーシャルスタディー						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	井上 ゆかり		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	航空会社にてグランドスタッフとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	社会人になる上で社会学習体験を実施し、マナーや身嗜み、一般常識を身につける。クラスや学科行事を行い学科・学年を跨いで交流を深める事でコミュニケーション力向上や協調性を身につけ業界へ適した人材育成に繋げる。また、外部講座を受講し、実践に役立つスキルを学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		業界に適した清潔感のある身嗜みをし日常的に維持する事ができる	
				○		社会人としてのマナーを身につけ実践することができる	
				○		自身の立場をわきまえて行動し、周囲へ配慮することができる	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	高齢者疑似体験			疑似体験をしやすい服装で臨む、タオル持参		
	2	高齢者疑似体験			疑似体験をしやすい服装で臨む、タオル持参		
	3	裁判所見学			スーツ着用、法廷内では私語厳禁。携帯はマナーモードにする		
	4	裁判所見学			スーツ着用、法廷内では私語厳禁。携帯はマナーモードにする		
	5	NHK見学			スーツ着用、公共電波視察にふさわしい態度		
	6	NHK見学			スーツ着用、公共電波視察にふさわしい態度		
	7	ハローウィンイベント準備			ハローウィンイベント準備に必要な物品を準備する		
	8	ハローウィンイベント準備			ハローウィンイベント準備に必要な物品を準備する		
	9	ハローウィンイベント開催			ハローウィンイベント準備に必要な物品を準備する		
	10	ハローウィンイベント開催			ハローウィンイベント準備に必要な物品を準備する		
	11	エアライン交流会			学科準備		
	12	エアライン交流会			学科準備		
	13	学園祭準備			学園祭準備に必要な物品をそろえる		
	14	学園祭準備			学園祭準備に必要な物品をそろえる		
15	まとめ						
評価方法	(1)自習・行事を数回実施する (2)授業態度以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	自習・行事				◎		50%
	授業態度				◎		50%
履修上の注意	欠席が6回以上となる場合は、単位未取得となる						

科目名	実用英語補講Ⅱ(A1クラス)						
科目名(英)	Practical English (make-up)						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	津田徳子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	外資系企業にて秘書として勤務 専門学校にて英語教育に従事		
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング・リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					TOEIC問題を解く際に必要な文法を説明することができる。	
	○					TOEIC頻出単語・熟語を覚え、応用できる。	
		○				様々な国の発音に慣れ、話の内容を聞き取り、日本語でも述べるができる。	
		○				ビジネス文書や記事を読み、内容を日本語に訳することができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC Listening&Reading 問題集5 (国際ビジネスコミュニケーション協会) ・TOEIC L&R出る単特急銀のフレーズ(朝日新聞出版) ・TOEIC 公式問題集2 (国際ビジネスコミュニケーション協会) 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	補講授業の概要とシラバスの説明 Listening、Reading				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。	
	2	Listening: Part1 Reading: Part5				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく。	
	3	Listening: Part2 Reading: Part5				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく。	
	4	Listening: Part2 Reading: Part5				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく。	
	5	Listening: Part3 Reading: Part6				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく。	
	6	Listening: Part3 Reading: Part6				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく。	
	7	Listening: Part3 Reading: Part6				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく。	
	8	Listening: Part3 Reading: Part6				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく。	
	9	Listening: Part4 Reading: Part7				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく。	
	10	Listening: Part4 Reading: Part7				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく。	
	11	Listening: Part4 Reading: Part7				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく。	
	12	Listening: Part4 Reading: Part7				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく。	
	13	Listening 通し問題(45分) 解答・解説				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく。	
	14	Reading 通し問題(75分) 解答・Part5解説				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく。	
	15	前回解説の続きとまとめ				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく。	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)朝自習プリントを実施し、その範囲に応じた小テストを数回実施する (3)事前に語彙の意味や聴解スクリプトでの表現を調べることを宿題と課す 評価する。 以上を下記の観点・割合で成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				70%
	小テスト	◎					15%
	宿題	◎	○		○		15%
履修上の注意	・辞書を持参(スマホ使用禁止) ・提出物は期限厳守 ・授業外での自主学習						

科目名	実用英語補講Ⅱ						
科目名(英)	Practical English (make-up)						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	深川信子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	予備校・塾にて英語講師として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング・リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					TOEIC問題を解く際に必要な文法を理解する事ができる。	
	○					TOEIC頻出単語・熟語を覚え、使用する事ができる。	
		○				様々な国の発音に慣れ、話の内容を理解する事ができる。	
		○				ビジネス文書や記事を読み、内容を理解する事ができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC Listening&Reading 問題集5 (国際ビジネスコミュニケーション協会) ・TOEIC L&R出る単特急銀のフレーズ(朝日新聞出版) 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	シラバス確認 Listening:Part1 Reading:Part5				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	2	Listening:Part2 Reading:Part5				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	3	Listening:Part2 Reading:Part5				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	4	Listening:Part2 Reading:Part5				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	5	Listening:Part3 Reading:Part6				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	6	Listening:Part3 Reading:Part6				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	7	Listening:Part3 Reading:Part6				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	8	Listening:Part3 Reading:Part6				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	9	Listening:Part1 Reading:Part5				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	10	Listening:Part2 Reading:Part5				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	11	Listening:Part3 Reading:Part6				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	12	Listening:Part3 Reading:Part6				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	13	Listening:Part4 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	14	Listening:Part4 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	15	Listening:Part4 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施 (2)単語テストを毎週実施 (3)朝自習プリント、宿題等の提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎					25%
	宿題・レポート	◎	○		○		25%
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書を持参(スマホ使用禁止) ・提出物は期限厳守 ・授業外での自主学习 						

科目名	実用英語補講Ⅱ						
科目名(英)	Practical English for STEP 2nd Grade (Make-Up Classes) Ⅱ						
単位数	2単位	時間数	30	担当者	蟻川 信三		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	福岡県立高等学校27年間勤務		
対象学科・学年	エアライン科 2年生						
授業概要	就職活動の資格試験として、実用英語検定試験2級合格を目指します。英語検定2級の問題を中心に、リーディング・リスニングを中心に演習を行います。また、英文読解力・語彙の強化に努め、英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)の表現力を高めることを目的とします。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					語彙: 英語検定2級に頻出する単語や表現を覚え、正しく使えるようになる	
		○				読む: 基本的な英文の内容を理解し、正しくその内容を読み取ることができるようになる	
		○				聞く: 様々な内容の英語を理解し、正しくその内容を聞き取ることができるようになる	
		○				書く: 基本的な単語を使用し、言いたいことをどうにか伝えることができるようになる	
テキスト・教材 参考図書	・旺文社 英検2級DAILY20日集中ゼミ ・旺文社 での順パス英検2級 1700語						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	【筆記①】 短文の語句空所補充問題①+過去問演習				「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	2	【筆記②】 長文の語句空所補充問題①+過去問演習				「英検3級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	3	【筆記③】 長文の内容一致選択問題①+過去問演習				「英検4級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	4	【筆記④】 長文の内容一致選択問題②+過去問演習				「英検5級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	5	英作文&リスニング演習①				「英検6級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	6	【筆記⑤】 短文の語句空所補充問題②+過去問演習				「英検7級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	7	【筆記⑥】 長文の語句空所補充問題②+過去問演習				「英検8級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	8	英作文&リスニング演習②				「英検9級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	9	実戦問題 (2019年度第1回目)					
	10	実戦問題 (2019年度第1回目) 解答・解説				2019年度第1回不正解問題の再解答	
	11	実戦問題 (2019年度第2回目)				2019年度第2回不正解問題の再解答	
	12	実戦問題 (2019年度第2回目) 解答・解説				2019年度第2回における語彙・文法の復習	
	13	実戦問題 (2019年度第3回目)				2019年度第3回不正解問題の再解答	
	14	実戦問題 (2019年度第3回目) 解答・解説				2019年度第3回における語彙・文法の復習	
15	学年末考査【50分】&受験上の注意点と総まとめ						
評価方法	① 定期考査を実施する(筆記)。以上を下記の観点・割合で評価する 成績評価基準は S:90点以上 A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上 D:59点以下 とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
	前半と後半の2部構成のため、また受講する学生が同じでないため、 前半・後半それぞれ終了後に定期試験にて評価を出す必要になるため。						
履修上の注意	①授業前の予習は必ず行うこと。復習より予習の方が大切である。②辞書(電子辞書可)を必ず持参すること。③筆記用具は必ず持参すること ④授業中のスマホ等の使用は絶対に禁止!(スマホ等での辞書アプリ禁止)						

科目名	実用英語補講Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	30	担当者	内丸 誌帆		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	専門学校にて講師として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	英検準2級レベルの英語力を基に、実務に必要な用語を身に着ける 接客に使う言い回しを学ぶ。アメリカ英語・イギリス英語の言い回しの違いを学び、判断することができる						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					サービス関連頻出単語を口頭で表現できる	
	○	○				基本的な文型表現を記述できる	
テキスト・教材 参考図書	旺文社 2020年度版 英検準2級 過去6回 全問題集／でる準パス単 英検準2級						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	実用英語1 補講 文型			単語テストに向けた学習		
	2	実用英語2 補講 時制の基本			単語テストに向けた学習		
	3	実用英語3 補講 完了形			単語テストに向けた学習		
	4	実用英語4 補講 疑問文			単語テストに向けた学習		
	5	実用英語5 補講 命令文			単語テストに向けた学習		
	6	実用英語6 補講 助動詞			単語テストに向けた学習		
	7	実用英語7 補講 受動態			単語テストに向けた学習		
	8	実用英語8 補講 否定表現			単語テストに向けた学習		
	9	実用英語9 補講 不定詞			単語テストに向けた学習		
	10	実用英語10 補講 動名詞			単語テストに向けた学習		
	11	実用英語11 補講 分詞			単語テストに向けた学習		
	12	実用英語12 補講 比較			単語テストに向けた学習		
	13	実用英語13 補講 関係詞			単語テストに向けた学習		
	14	実用英語14 補講 接続詞			単語テストに向けた学習		
	15	実用英語15 補講 まとめ・テスト					
評価方法	小テスト・宿題・提出物・定期試験を実施する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト	○	○				30%
	宿題・レポート		○				20%
履修上の注意	課外だけでなく講義内でも単語テストを実施し、期末の成績に反映されるので自宅学習を徹底すること						

科目名	実用英語補講 II						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	波多野 里美		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	航空会社にて国際線客室乗務員として勤務		
対象学科・学年	エアライン 2年						
授業概要	英検過去問題の文法、読解、リスニング、ライティングと徹底的に学習することにより、英検準2級合格を目指します。毎朝、朝課題として英単語と英熟語を学習してください。毎回リスニングを実施します。テキスト英検準2級過去問題集を徹底的に取り組みますので各自、予習・復習を実施すること。何度も学習することにより、日常生活に必要な英語を理解し、活用することが出来るレベルを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					英検準2級の合格を目指すための、語彙力や文法を説明できる。	
	○					英検準2級の英単語・熟語を書き覚えることができる	
	○					英検準2級のリスニング問題に対応できるようになる。	
	○					英検準2級の文法・読解を学習し、筆記問題に対応できる。	
	○					英検準2級程度の英作文のスキルを身に付け、応用できる	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・英検準2級過去6回全問題集(旺文社)・でる順パス単英検準2級(旺文社) ・英検準2級をひとつひとつわかりやすく(学研) 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	リスニング・短文の語句空所補充				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと	
	2	リスニング・短文の語句空所補充				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと	
	3	リスニング・短文の語句空所補充				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと	
	4	リスニング・短文の語句空所補充				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと	
	5	リスニング・短文の語句空所補充・小テスト				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	6	リスニング・短文の語句空所補充・英作文				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと	
	7	リスニング・短文の語句空所補充・英作文				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと	
	8	リスニング・短文の語句空所補充・英作文				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと	
	9	リスニング・短文の語句空所補充・英作文				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと	
	10	リスニング・短文の語句空所補充・英作文・小テスト				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	11	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと	
	12	リスニング・短文の語句空所補充・英作文				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと	
	13	リスニング・短文の語句空所補充・英作文				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと	
	14	リスニング・短文の語句空所補充・英作文				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと	
	15	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文・小テスト				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
評価方法	(1) 学年末試験(筆記)を実施する。(2) 授業の中で小テストを3回実施する。(3) 宿題提出状況以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	学年末試験						80%
	小テスト						10%
	宿題						10%
履修上の注意	授業中の英単語検索は、電子辞書、または英語辞典等を授業に持参してください。出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語補講Ⅱ					
科目名(英)						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	夏山恵	
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	航空会社にて国際線客室乗務員として勤務	
対象学科・学年	エアライン科 2年					
授業概要	英検3級程度の英語力を基に、理解が曖昧な可能性のある英文法を学習、確認し直すことで英語運用の確実な基礎を作る。精聴リスニングと音読練習を行い、英語4技能(リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング)を効率よく高める。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					1200語程度の単語、熟語力を身につけ、応用できる。
	○	○				テキストの課題文について9割以上英語で解答することができる。
	○	○				テキストのリスニング内容をほぼノーマルスピードで聞き取り、音読することができる。
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・啓隆社 Baton Pass G1 ・旺文社 英検3級でる順パス単／英検3級出る順パス単書き覚えノート ・ジャパンタイムズ はじめての英語音読 					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	・現在時制、過去時制 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	2	・進行形、未来時制 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	3	・まとめ小テスト① ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	4	・疑問文、命令文、名詞、冠詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	5	・代名詞、助動詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	6	・まとめ小テスト② ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	7	・動名詞、不定詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	8	・形容詞、副詞、比較 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	9	・まとめ小テスト③ ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	10	・受動態、現在完了形 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	11	・分詞、関係代名詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	12	・まとめ小テスト④ ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	13	・文構造、否定疑問文、付加疑問文、間接疑問文 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	14	・前置詞、接続詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
15	・まとめテスト⑤ ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと		

評価方法	(1)定期試験を実施する (2)授業の中で小テストを5回実施する。 (3)授業への参加状況(音読の取り組み姿勢や積極的な発言)(3)宿題提出状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	小テスト	○	○				10%
	授業への参加態度	○			○		10%
履修上の注意	毎朝、朝課題として書き覚えプリントを使用し、英単語・英熟語を学習すること。						

科目名	社会教養Ⅱ-②						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	井上 ゆかり		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	航空会社にてグランドスタッフとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	社会人になる上でのマナーや身嗜み、教養知識を身につける。また、コミュニケーション力向上や協調性を身につけ業界へ適した人材育成に繋げる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		業界に適した清潔感のある身嗜みをし日常的に維持することができる	
				○		社会人としてのマナー(挨拶・電話・メール・態度など)を身につけ実践することができる	
	○					社会における報連相を素早く行うことができる	
	○					好感もてる表情や口調で自身の伝えたいことを話すことができる	
			○			自身の立場をわきまえて行動し、周囲へ配慮することができる	
テキスト・教材 参考図書	就職活動ガイドブック、求人票、受験者報告書、配布プリント、マナープロトコルの基礎知識 & 検定2級・3級問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	キャリアプラン					
	2	言葉のマナー					
	3	言葉のマナー					
	4	服装・化粧のマナー					
	5	贈り物のマナー					
	6	通信のマナー					
	7	人付き合いのマナー					
	8	旅行のマナー					
	9	食事のマナー					
	10	葬儀のマナー					
	11	結婚のマナー					
	12	社会人基礎知識①					
	13	社会人基礎知識②					
	14	社会人基礎知識③					
15	まとめ						
評価方法	(1)授業態度 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度(意欲・努力)				◎		100%
履修上の注意	欠席が6回以上となる場合は、単位未取得となる						